

## 専門科目試験問題

次の問題 A、問題 B をそれぞれの指示にしたがって解答しなさい。

解答には必ず所定の解答用紙を用いること。

## 専門科目試験問題

### 問題 A

受験票に記載した予定履修分野の問題から 1問を選んで、所定の解答用紙に 日本語もしくは英語 で解答しなさい。

#### 履修分野 I

- 2018年にイギリスのマンチェスター美術館は、ギリシア神話をモチーフとした裸の女性が描かれた絵画『ヒュラスとニンフたち』(1896)を一時撤去した。この背景には、#MeToo運動の影響があったと言われている。この例のように現代の価値観から、過去のアート、文学作品、歴史的建造物などを批判し、修正を加えたり、時に撤去や廃止にいたる事態について、あなたの考えを具体的に述べなさい。
- 2025年に、日本ではクマに襲われて死亡した人が12人以上にのぼり、統計上過去最多になった。そしてニュースメディアはこれについて広くかつ集中的に報道した。クマによる襲撃が繰り返し報道され人々の耳目を集めるという現象の背後にある、文化的・歴史的な要因を論じなさい。
- アメリカ合衆国では2000年代から、本や映画などを論評する際、「身近に感じられる (relatable)」という語が頻繁に用いられるようになった。しかし、この語の濫用に対する批判もある。そこで、具体的にいくつかの本や映画、およびその内容や登場人物を取り上げながら、「身近に感じられるかどうか」を尺度とする論評を批判する議論を示しなさい。
- 小説、マンガ、映画、アニメ等の作品において「方言」や「方言のようなもの」がどのように扱われ、どのような効果をあげるかについて、具体的な作品を1つ選び、論じなさい。

#### 履修分野 II

- Leechは*The Pragmatics of Politeness* (Oxford University Press, 2014)で、ポライトネスの尺度を「語用言語学的ポライトネス尺度 (pragmalinguistic politeness scale)」と「社会語用論的ポライトネス尺度 (sociopragmatic politeness scale)」に分けている。両者の違いについて、具体例をあげて説明しなさい。
- 近年の学校教育現場では、いじめ防止の観点から「あだ名」を禁止し、男女問わず「さん付け」で呼ぶよう指導するケースが増えている。あだ名が持つ「親密性の構築」や「集団への包摂」という機能と、それが「いじめ (スティグマの付与)」へと転化するリスクについて触れつつ、呼称の管理と言語政策が子どもの社会化に与える影響について論じなさい。
- 第二言語習得や応用言語学において注目を浴びている「アフェクティブな転回 (affective turn)」について、キーワードや研究例を踏まえながら詳しく説明した上で、第二言語・外国語教育の研究や実践に与える示唆について具体的に論じなさい。
- 外国語教育におけるリテリング (retelling) 活動は、学習者の理解過程や記憶保持、発話生成などの認知的プロセスにどのような影響を与えるか、理論的および実践的側面について論じなさい。また、リテリング活動の成果を客観的に評価するには、どのような測定方法や基準が有効かについても述べなさい。

履修分野 III

9. 以下は英語のある方言におけるいくつかの語の音声形式である。このデータに見られる音素 /l/ の異音 [l, w, u] の分布について音節構造の観点から論じなさい。なお、[ʔ] は声門閉鎖音を表す。

- |              |         |              |        |
|--------------|---------|--------------|--------|
| (1) [lɔɪʔ]   | light   | (2) [lɑɪdi]  | lady   |
| (3) [fi:lɪn] | feeling | (4) [fiɪw]   | feel   |
| (5) [gɜ:w]   | girl    | (6) [bɒʔu]   | bottle |
| (7) [filʌ]   | filler  | (8) [fiɪwʔʌ] | filter |

(出典 : Carr, Philip. 2020. *English phonetics and phonology: An introduction*, 3rd edn. Wiley-Blackwell, p. 69. 一部改変)

10. word2vecをはじめとする単語埋め込み (word embedding) に関して、「理論的な背景」「埋め込み空間における意味の関係」「研究への応用可能性」の3点に触れながら、具体例をあげてその概要を説明しなさい。

11. 英語には総称を表す形式として (1) a + 単数名詞 (2) the + 単数名詞 (3) the + 複数名詞 (4) 無冠詞複数名詞 の4つがあるが、この違いについて例文をあげながら説明しなさい。

12. 以下の例文(1)は多義的である。どのような異なる解釈が可能であることを示し、なぜそのような複数の解釈が可能となるのかを言語学的な観点から詳しく説明しなさい。

- (1) Mary thinks that the captain of this team is a foreigner.

## 問題 B

受験票に記載した予定履修分野とは関係なく、以下の問題から **1問を選んで**、所定の解答用紙に **日本語もしくは英語**で解答しなさい。

B1. マルクス主義については、「現代ではもはや有効性を失った」とする見方と、「今日の社会問題を理解するうえでも依然として重要である」とする見方がある。現代社会におけるマルクス主義の価値や意味について、具体例をあげてあなたの考えを述べなさい。

B2. 翻訳作品を原作と同等な「オリジナル (第一次テキスト)」として見なすことの妥当性について、具体例をあげながら論じなさい。

B3. 「日本人は集団主義的だ」「欧米人は個人主義的だ」といった言説は、複雑な現実を単純化する本質主義の罠に陥りやすい。言語文化研究において、このような静的で固定的な文化観を乗り越え、より動的な分析を行うためには、どのような視点が必要か論じなさい。

B4. 外国語教育に携わる教員にとって、フィードバック能力は教室活動において重要な能力である。教員のフィードバック能力を育成するためにはどのようなことを行えばよいか、この能力に含まれる側面を3つ以上あげながら、具体的に述べなさい。

B5. 以下の例文(1)では、基本的な語順とは異なる表現方法が用いられている。主に倒置の効果に注目し、通常の用法との比較をしつつ、その特性や機能について具体的に説明しなさい。

- (1) a. On the hall table is a crystal vase full of roses.  
b. Under the doormat lay the key to the front door.

(出典：久野暉・高見健一『謎解きの英文法 省略と倒置』くろしお出版、2013、p. 179. 一部改変)

B6. 日本語の「もう」は例文(1)のように、英語の **already** と同じような意味で用いることができるが、例文(2)のように **no longer** に対応する意味で用いることもできる。日本語の「もう」の意味を英語の **already, no longer, any more** などと対比しながら、どのように記述するのが妥当であるかについて説明しなさい。

- (1) a. 彼はもう着いた。  
b. He has already arrived.  
(2) a. 祖父はもう歩けない。  
b. My grandfather can no longer walk.